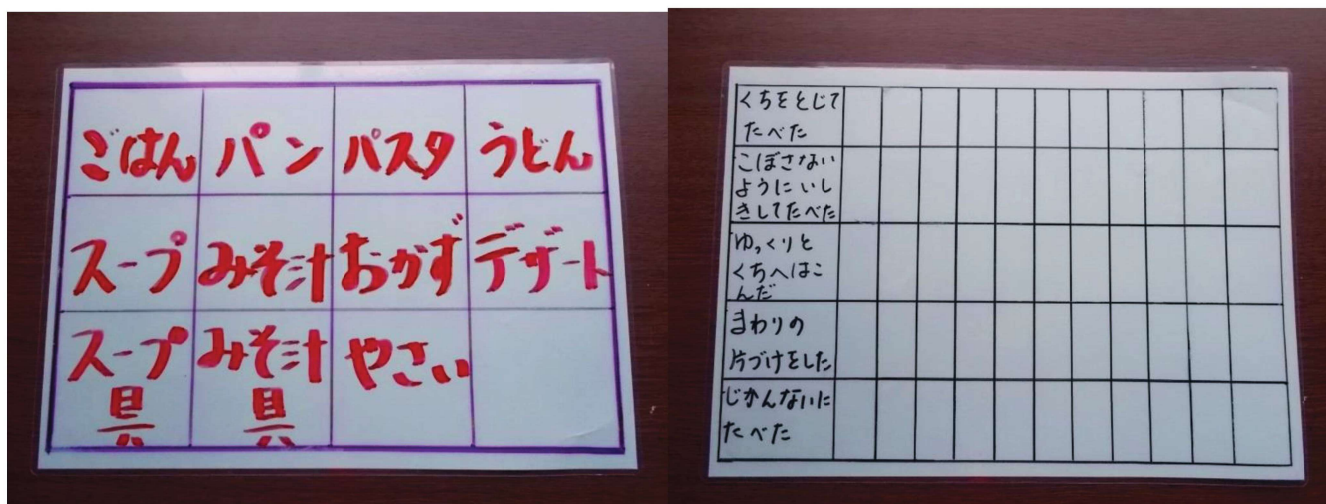


教材教具名	コミュニケーションボード	分類	コミュニケーション
		授業名	給食（高等部）
ねらい	・給食時に取り分けてほしいものを介助者へ確実に伝えられる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・食事時にそばに置き、取り分けてほしいものを指さす。

<材料>

- ・紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

- ・指さしやすいように大きめに作った。

<効果>

- ・ほしいものを口頭で伝えようとしてむせてしまうことが減り、本人の意思が伝わりやすくなったことで食事の時のコミュニケーションが円滑になった。

教材教具名	PECS（ペクス） 絵カード交換式コミュニケーションシステム	分類	コミュニケーション
		授業名	日常生活（小学部）
ねらい	・カードを使用し、自発的なコミュニケーション手段を獲得する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・選択肢1枚のカードからはじめ、「カードを渡す=願いが叶う」練習を繰り返す。
- ・教員2人で対応する。1人は子どもの後ろからカードを渡す動きを支援する。1人はカードを受け取る役割をする。子どもが行動を起こす前に言葉かけ等は行わずに行う。

<材料>

- ・2リングバインダー・下敷き（不透明がよい）・マジックテープ

<工夫点>

- ・実態に応じた、カードの枚数を提示する。

<効果>

- ・自分から、おもちゃや場所などカードを渡し、要求を伝えることができた。
- ・「〇〇ください」など、2語文で伝えることもできてきている。

教材教具名	コミュニケーションボード	分類	コミュニケーション
		授業名	日常生活、給食（小学部）
ねらい	・カードを使い適切にコミュニケーションが取れる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・カードの1枚出しから練習し、徐々に文章につなげていく。

<材料>

- ・ファイル（小）、マジックテープ、絵や写真カード

<工夫点>

- ・他の子のカードと区別が必要な児童には、カードの淵の色を変えて自分カードがわかるようにした。

<効果>

- ・児童自ら適切に要求ができるようになった。

教材教具名	気持ちカード	分類	コミュニケーション
		授業名	個別課題学習（高等部）
ねらい	・表情と気持ちの理解。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・表情カードを提示して、ことばカードを選んだり、ことばカードを提示して表情カードを選んだりしてマッチングしていく。

<材料>

- ・マグネットシート、ラミネートしたカード

<工夫点>

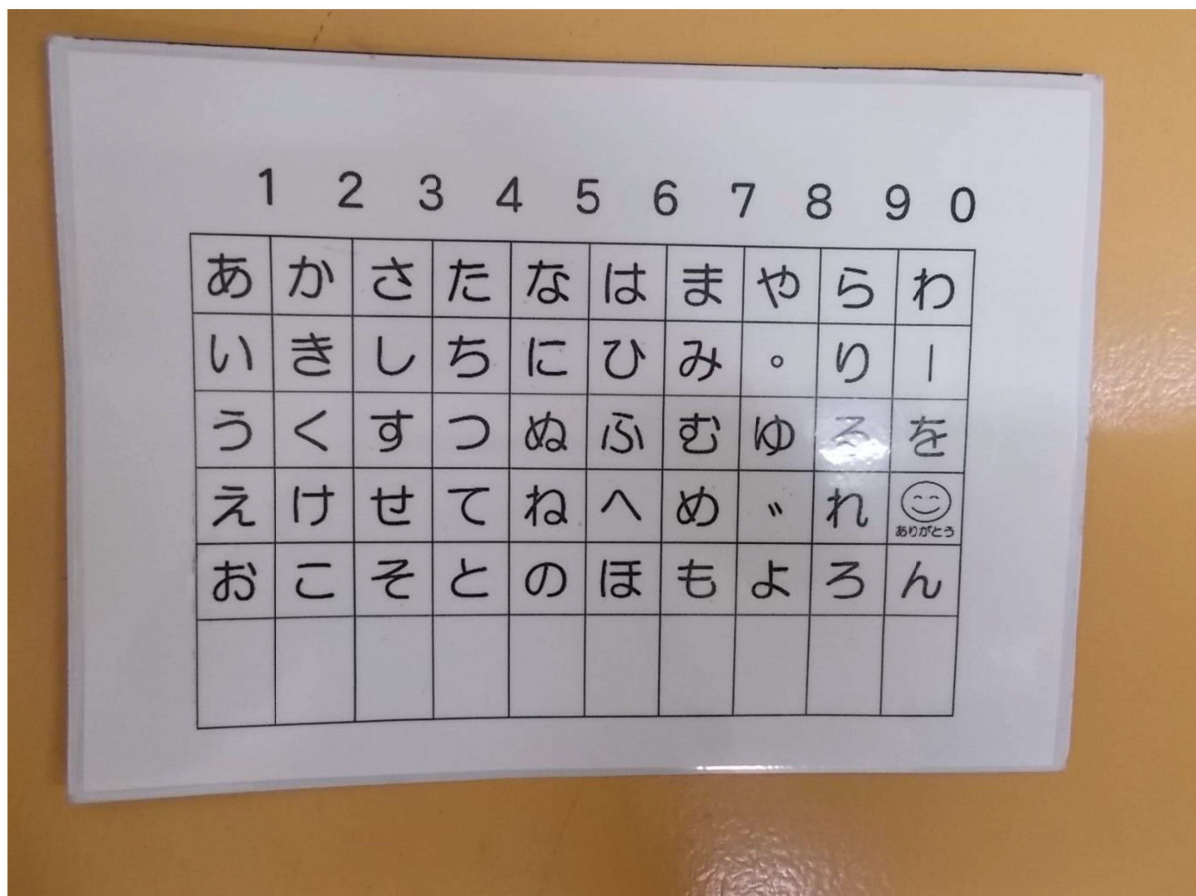
- ・カードタイプにすることで、繰り返し学習ができる。

<効果>

- ・表情と気持ちの理解につなげる。

教材教具名	50音ボード	分類	コミュニケーション
		授業名	いつでも
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 相手が聞き取りにくい言葉を指差して伝えることでコミュニケーションをスムーズにする。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 発音が不明瞭で相手に伝わらないときに指差しをして伝える。

<材料>

- ラミネートフィルム、50音表

<工夫点>

- 数字も入れた。

<効果>

- 相手に伝わらずにイライラしたり、落ち込んだりすることが減った。